

産学連携先端材料 研究開発センター

Material Solutions Center, Tohoku University.

本センターは、経済産業省の施設整備費補助金を活用して金属材料研究所、多元物質科学研究所、流体科学研究所、及び本部事務機構が連携整備し、その後電気通信研究所が運営に加わった材料科学の産学共創拠点です。これら四つの附置研究所の研究領域であるナノからマクロスケールにわたる金属材料、無機材料、ハイブリッド材料等の先進的な研究開発とデバイス化研究を基に、社会基盤分野、エレクトロニクス分野、エネルギー分野に於いて産学官による研究開発体制を構築し推進する役割を担っており、震災復興に資する社会実装と我が国の材料分野における国際競争力の強化を目指しています。



	学外の方	学内の方
使用料金	年間:30,000円/㎡(税抜) ※光熱水料等の付帯料金は別途負担	年間:15,500円/㎡(税込) ※光熱水料等の付帯料金は別途負担
入居(使用)条件	センターでは、次の①から③に掲げる新機能等を有する未来材料に係るプロセスの開発・実用化を促進するため、産業用途を意図し具体的な出口を見据えた産学連携による研究開発プロジェクトを集約し、材料分野の産業集積と雇用の創出に繋げることを目指している。公募により審査を経てセンターの趣旨に合致し、その成果に寄与できる研究プロジェクトが使用できるものとする。 ① エネルギー材料(太陽電池関連材料、水素貯蔵材料、蓄電池材料等) ② エレクトロニクス材料(パワーデバイス材料、電子デバイス材料等) ③ 社会基盤材料(自動車用材料、ライフサイエンス用材料、構造用材料等)	
入居申込方法 (公募時期、申込の流れ等)	但し、学外者が研究プロジェクトの代表者となって申請する場合には、本学教職員と共同で研究プロジェクトを実施しているものとする	
入居期間	公募(随時)による所定の申請書を本センター長宛に提出	
	原則1年単位(最長5年)	

お申し込み方法

お申し込み方法や、各種設備の詳細など詳しくはwebにて掲載しております。
まずご確認ください。

<http://www.masc.tohoku.ac.jp/>



